



CS1Dをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

PM1D システムソフトウェア V1.41 について

PM1DシステムソフトウェアV1.41では、以下の補足説明にご留意ください。

【作成したファイルの互換性について】

システムソフトウェアV1.41で作成したファイルをシステムソフトウェアV1.3以前のシステムにロードすることはできません。システムソフトウェアV1.3以前のシステムで作成したデータはシステムソフトウェアV1.41のシステムでロードできます。その際、V1.41で追加された機能に関するメモリーは、工場出荷時と同じになります。

【タイムコードイベントの補足説明】

複数のイベントを登録する際、3秒間で5つまでのイベントを登録することができます。6つ以上登録しても6つ目以降はリコールされないことがあります。

基本的にタイムコードが走りだしてから3秒間は、チェイスのためにイベントを実行できません。

必ず、実行したいイベントの3秒以上前からタイムコードをスタートさせてください。

また、この3秒間は手動によるSCENE RECALLができません。

タイムコード・イベント・リストに登録されているイベントは、タイムコードが走り出してから一周だけ実行されます。SCENE INC/DECで登録されたイベントは、基本的にはタイムコードが走り出した時点でのSCENE No.を元に行われます。

従って、タイムコードが走行中にTC EVENT以外の手段でSCENE RECALLが行われた場合でも、そのSCENE No.はタイムコードイベントには影響しません。

タイムコードイベントによるSCENE RECALLが、それ以外の手段によるSCENE RECALLの処理中に起こった場合、先のRECALLの処理が終了次第、後のRECALLが実行されます。

逆に、タイムコードイベントによるSCENE RECALLの処理中に、それ以外の手段によるSCENE RECALLが起こった場合、後のRECALLが行われなことがあります。

CONSOLE単体(ENGINEを接続しない状態)でも、TC IN SELECTが[INT GEN]か[CONSOLE]に設定されていれば、イベントを実行する事ができます。

(ただし、FADE TIME機能は動作しません)

タイムコードイベントによるSCENE RECALLでは、RECALL UNDOを行うことはできません。

【ミラーモードの補足説明】

ENGINE AとENGINE Bで、UNITの接続状態が異なる場合には、動作を保障することはできません。

アナログ入力用ユニットAI8のC PORTは使用できません。

システムソフトウェアV1.3から、ミラーモードにENGINE AからENGINE Bへの自動切り替え機能が追加されています。これは、次の症状を検出し、自動的にENGINEをAからBに切り替える機能です。

1. ENGINE A自体の障害
2. CONTROL I/Oケーブルの障害

ただし、この機能を正常に動作させる為には、次のような条件が必要です。

1. ENGINE A、ENGINE Bが共に正常に接続され、動作していること
2. DIGITAL I/Oケーブルが結線されていること
3. その他、システム全体が取扱説明書に記述された通りに設置されていること

なお、このエンジンの自動切り替え機能には下記の注意事項がありますので、ご注意ください。

1. ENGINE BからENGINE Aへの自動切り替えは行われません。
2. CONTROL I/Oケーブルに障害が起こった場合、端子1/2切り替えよりも、ENGINE A/B切り替えが優先されます。
3. 使用中のENGINE Aの電源が落ちた場合、自動切り替えが作動し、ENGINE Bに切り替わり、音声が出始めるまでに約5秒かかります。
(CONTROL I/Oケーブルの障害だけなら音切れはありません)
4. CONSOLEの電源投入時に結線の障害がある場合、条件によっては自動切り替えが起こらない場合もあります。必要に応じて手動で切り替えてください。

【PREVIEW モードの補足説明】

CS1Dのシーンメモリー操作によりストアしたシーンの各設定値を確認したりできるPREVIEWモードがあります。このPREVIEWモードでの各種メーターは、現在の信号処理の状態を表示します。

また、1台のユニットを複数のエンジンに接続している場合、コントロールポートに設定していないエンジンに接続されているシステムをPREVIEWモードにした場合、GAIN GANGやA/B LINKは操作できません。

【ソフトウェアバージョン表記について】

本取扱説明書の「PM1DシステムVer1.0」と記述されている箇所は、「PM1DシステムソフトウェアV1.41」と読み替えてください。

アプリケーションソフト「PM1D Manager for Windows」とPM1D本体のシステムのバージョンが違う場合、安全のためPC接続が拒否されるようになりました。必ず同じCD-ROM内にあるソフトウェアを使用してバージョンを合わせてご使用ください。